

社会福祉法人 雲柱社
2014（平成26）年度 事業報告

事業基本理念・事業目標に基づく、社会福祉施設の設置・経営、及び収益事業の設置・経営

社会福祉法人 雲柱社 事業基本理念

(1999年12月24日)

- (1) 私たちは、賀川豊彦の思想と実践（キリスト精神）を継承し、神と人ともに仕える仕事をします。
- (2) 私たちは、一人ひとりの人格を尊重し、その成長を支援します。
- (3) 私たちは、常に利用者の立場に立って、そのニーズに応え、サービスの向上に努めます。
- (4) 私たちは、地域社会の福祉課題を積極的に掘り起こし、それに取り組みます。

保育ブロック事業目標

- (1) 私たちは、子どもたちが神を敬い、人を愛するように成長することを願って保育をします。
- (2) 私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、それを受け入れ伸ばしていく保育をします。
- (3) 私たちは、子どもたちの自ら育つ力を信じ、意欲を育て支える保育をします。
- (4) 私たちは、子どもたちが心身共に健やかに育つために、保護者の子育てを支援します。
- (5) 私たちは、地域に開かれた保育園を目指します。
- (6) 私たちは、保育の質の向上を常に心がけ、専門の知識を深め、技能の研鑽に努めます。

グループかがわブロック事業目標

- (1) 私たちは、障害児・者一人ひとりが神に愛され、生かされているという事実に基づいて事業を行います。
- (2) 私たちは、障害児・者一人ひとりの人格と個性を尊重し、その成長と生活を支援します。
- (3) 私たちは、障害児・者の家族が抱える課題を深く受けとめ、その解決に向けて努力します。
- (4) 私たちは、地域社会の障害者福祉のニーズを掘り起こし、積極的にこれに取り組み、共に生きることを目指す、地域のセンターとしての役割を果たすことに努めます。
- (5) 私たちは、障害児・者一人ひとりのハンディキャップを理解し、かれらに最適なケアを提供するために、専門の知識を深め、技能の研鑽に努めます。

児童館ブロック事業目標

- (1) 私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。
- (2) 私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。
- (3) 私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。
- (4) 私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。
- (5) 私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。

学童クラブ事業目標

私たちは、所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業にとり組みます。

- (1) 私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。
- (2) 私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
- (3) 私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。
- (4) 私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。
- (5) 私たちは、自由と規律を大切にする学童クラブを目指します。
- (6) 私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。
- (7) 私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

子ども家庭支援センター事業目標

- (1) 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実に基づいて、事業を行います。
- (2) 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つまちや社会をつくることを目指します。
- (3) 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。
- (4) 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、よりよい解決に向かえるよう、専門性に基き対応します。
- (5) 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズに合わせて、必要な支援を行うことに努めます。

社会福祉事業（第二種）

種別	名称	個所	
第二種	保育所	愛の園保育園、五日市保育園、墨田区押上保育園、烏山保育園、神愛保育園、祖師谷保育園、高根学園保育所、ともしび保育園、光の園保育学校、黎明保育園、練馬区立光が丘第六保育園、虹のひかり保育園 ※____は分園併設	12
	児童厚生施設	さくら橋コミュニティセンター、墨田児童会館、文花児童館、外手児童館（墨田区）、汐入ふれあい館（荒川区）、狛江市立岩戸児童センター（子ども家庭支援センター事業併設・狛江市）、狛江市立和泉児童館（ファミリー・サポート・センター事業併設・狛江市）上池台児童館（大田区）、日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ（日野市）、江東区亀戸児童館、江東区平野児童館（江東区）、目黒区立中央町児童館（目黒区）、町屋ふれあい館（荒川区）、江東橋児童館（墨田区）、練馬区立光が丘児童館（練馬区）※____は学童クラブ分室併設館	15
	放課後児童健全育成事業	れいめい堀切学童保育クラブ、れいめい宝学童保育クラブ（葛飾区）、汐入学童クラブ、七峡小学童クラブ、汐入小学童クラブ（荒川区）大島四丁目学童クラブ、大島八丁目学童クラブ（江東区）、練馬区立高松小学童クラブ（練馬区）	8
	障害福祉サービス事業 （共同生活援助事業・共同生活介護事業）（グループホーム・ケアホーム）	かがわの家 シリウス、ベガ、ミラ、カペラ、ジュピター、ソレイユ	6
	障害福祉サービス事業 （就労継続支援B型・生活介護・短期入所）	小金井生活実習所	1
	障害福祉サービス事業 居宅介護 行動援護	かがわサポートセンター・ウイングス	1
	移動支援事業 障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 生活介護	小金井市福祉共同作業所	1
	障害児通所支援事業 児童発達支援センター	賀川学園、小金井市児童発達支援センターきらり	2
	障害福祉サービス事業 生活介護事業	かがわ工房、ワークスタジオかがわ	2

社会福祉事業（公益事業）

地域ダイグループ事業	さくらの木（知的障がい学齢児 個別・グループ学習）	1
ファミリー・サポート・センター事業	狛江市全域（和泉児童館内）、小金井市全域（小金井市子ども家庭支援センター内）、小平市全域（小平市子ども家庭支援センター内）	3
子ども家庭支援センター事業	江東区東陽子ども家庭支援センター、江東区大島子ども家庭支援センター、江東区深川北子ども家庭支援センター、江東区南砂子ども家庭支援センター（江東区）、練馬区立光が丘子ども家庭支援センター、練馬区立大泉子ども家庭支援センター（練馬区）、狛江市子ども家庭支援センター（狛江市）、小金井市子ども家庭支援センター（小金井市）、小平市子ども家庭支援センター（小平市） ※____は先駆型子ども家庭支援センター	9
放課後子どもプラン事業	汐入東小にこにこすくーる（荒川区）、土曜江東きつずクラブ（江東区）、江東きつずクラブ明治、江東きつずクラブ深川（江東区）	4
家庭的保育事業（保育所実施型）	祖師谷保育園・同分園（実施園）「おうち」（7か所）、光の園保育学校（連携園）「ぶどうの木保育室」「八広ぶどうの木保育室」	9

収益事業

店舗賃貸ビル	和光プラザ	1
共同賃貸住宅	友愛コーポ	1

2014年度事業報告

I：総合的な視点から

1：ミッションの具体化への取り組み

(1) 事業基本理念（キリスト精神）を実践の柱に

社会の変化にともなう利用者のニーズの多様化、それに対応できる職員の養成が難しくなり、且つ、キリスト者の職員が少なくなってくるなかで、「キリスト精神」に対する理解と共感、さらに実践の中での具体化を目指して、努力を続けてきました。

現在、職場においては、毎朝、聖書を読んで、祈りを捧げ仕事を始めること、近隣教会の牧師さんの協力を得て聖書の学びをつづけていること、また、法人主催の研修では創立者の思想と実践について学び、「キリスト精神」の継承に力を注いできました。

(2) ミッションに立つ職員（人財）の育成

今年度も職員採用時の面接において、法人のミッションについての設問を設けて、応募者の理解度を確かめることに心がけてきました。

多くの応募者は、事前に賀川豊彦について、さらに、法人の事業基本理念に関しても、一定の理解をもって応募していることがわかりました。

もちろん、教会に行くことを強制したり、洗礼をすすめることなどはしていませんが、職員の多数は法人のミッションに理解と共感を示し、研修で予定されている礼拝に前向きに参加しています。

特に人間の成長支援に関わる仕事なので、私たちが神によって創造され、隣人と共に生きる方向性を示されていることを踏まえて、現場では対人援助の根幹に、聖書が示す人間観を据えて事業に取り組んできました。

この法人の姿勢が、利用者からも理解され評価されていることは、職員の資質の向上につながっていると思われまます。

II：第二次中期計画の推進

(1) 地域型福祉事業体の形成

私たちは2011年に「第二次中期計画」を策定して、その具体化に取り組み始めて四年目を経過することになりました。この計画の骨子は、従来の事業種別ブロックから、一定の地域ごとに業種を超えた「地域型福祉事業体」を形成し、より地域に根ざした社会福祉実践を展開して行くことを目的としています。

社会福祉の流れが施設型から地域福祉型へと大きく変えていくなかで、我が法人もまた、事業の方向転換（施設中心から利用者主体への流れ）を迫られていること、利用者のニーズが複雑多様化していくなかで、単独の事業体だけでは対応が難しくなっていることが、その背景にあります。

しかし、長らく維持してきた事業種別ブロックの役割は未だ大きく、新しい方向への転換には課題を多く残しています。

2014年度までの状況は、地域において協力がしやすいところから、地域型事業ブロックの形成に取り組んできました。

具体的には、情報の交換、トラブルへの支援、苦情対応、職員の交換研修、産業医を交えた地区衛生委員会の実施、パート職員採用の支援などが行なわれてきました。

今後も地域の実態に応じて、地域型福祉事業体の形成を進めていきたいと考えています。

近年社会福祉法人へのバッシングが強まっています。その理由は、社会福祉法人は安定した事業にしか手を出さず、困難な事業はNPOなどに任せている、というものであります。

当法人としてはこの大きな課題に取り組んでいかなければならないと考えています。

(2) 地域型社会福祉事業体を基盤とした新規事業への取り組み

今年度は新しい事業の具体的な取り組みはありませんでしたが、今後に向かっての新しい事業への準備が進められてきました。

小金井地区では学童クラブのプロポーザルに応募し、2つの学童クラブの委託が決定し今年度末から引継ぎの準備に入りました。小金井地区で法人は長年にわたって障がい児・者の事業に取り組んできましたが、今年度から次年度に向かってグループホームの建設に取り掛かります。

狛江地区では保育園と児童館（現在法人委託事業）の合築という法人にとって初めての事業に挑戦することが決まりました。保育園の方は2015年度から保育業務の引継ぎが開始されます。

また、新年度に向けて荒川地区の七峡学童クラブが「放課後子ども総合プラン」に移行する準備に入りました。

さらに墨田地区の文化児童館では、近隣の小学校に出来る学童クラブ（分室）準備を進めており、2015年度から事業が開始されます。

法人としては、既存の事業の質を維持しながら、さらに新たなニーズに応える事業展開を目指したいと考えていますが、その際には第二次中期計画に則って、地域型福祉事業体の形成に沿って、行っていきたいと考えています。

(3) 働きやすい職場環境の整備とワークライフバランスの実現に向けて

第二次中期計画の柱の一つである、「働きやすい職場の実現」に向かって、今年度も努力を続けてきました。

特に職員のメンタルヘルスに関しては、地域ごとの産業医の配置と衛生委員会の実施、臨床心理士を採用して、職員のメンタル不調への配慮や職場復帰の支援に当たってきました。

また、社会保険労務士と契約し、支援を得て、労務環境を整えるための諸規定の整備にも取り組んできました。

ワークライフバランスの実現に関しては、残念ながら十分な成果を上げることが出来ませんでした。残業を減らしたり、有給休暇を取りやすくするためには、事業の見直しや事務作業の合理化、職員間の協力が不可欠となってくるものと考えられます。

現場の職員の皆さんの疲労の蓄積が問題とされていながら、予算が削減されて、職員の増員がままならない状況のなかで、サービスの質を下げないで、ワークバランスの実現を如何にして果たしていくか、2015年度もこの課題に、理事会、各事業ブロック、各施設が力を合わせてチャレンジしていかなければならないと考えています。

Ⅲ：外部監査の受審の推進

2016（平成28）年度に外部監査を受けることを予定して今年度も準備を進めてきました。

2015年度より導入する「新会計基準」に向けての整備にも取り組んできました。

法人のミッションに基づく事業を継続・発展させていくこと、職員の雇用と生活を守るためにも、法人の経営に対する第三者の専門機関による監査の必要性は一段と強まっています。

外部監査導入の年となる2016年度にむけて、法人内の組織規程の未整備部分の補充、諸規定の整理、さらに、法人体制の整備と適正な予算執行について、法人事務局と施設との協働関係も強化していきたいと考えています。

Ⅱ：事業の展開

1. 第二次中期計画の具体化

(1) 法人事業基本理念の職員への浸透と体現化をすすめていくための研修の展開

①法人研修計画に基づく研修の実施

＊新入職員研修 ＊経験年数別研修 ＊3年目宿泊研修 ＊10年目職員プレゼン研修

・法人のミッション（キリスト精神を中心に）、賀川豊彦研究、法人の歴史など

＊テーマ別研修

・人権、障がい児関係、メンタルヘルス、ソーシャルワークなど

②長・中期的な「戦略」に基づく人材の育成

＊リーダー研修、主任研修、管理職研修などを実施

＊今後は人材登用を踏まえた研修を企画実施していく。

③事業種別ブロック主催の研修計画に基づく研修の実施

＊業種別ブロックの専門知識、スキルの研修

＊保育ブロックは7年目職員の実践発表を毎年実施している。

④事業所ごとに予定される研修計画に基づく研修の実施

＊各事業所が独自の計画の下、研修を行なっている。

＊施設によっては自己啓発研修において、各職員が研修テーマを決めて、1年間かけて準備をして発表会を実施している。

⑤地域型社会福祉事業体の構築に向けての研修と情報の交流

＊荒川地区、墨田地区、江東地区、狛江地区などにおいて実施された。

＊今後はさらに他の地域でも実施していく。

(2) 地域型社会福祉事業体の形成の促進と実質的な事業展開

①実現可能な新規事業から取り組みを始めていく

＊狛江市の保育園・児童館合築の取り組み

＊小金井市学童クラブの受託

・2015年度から始まる子ども子育て新制度において、学童クラブが組み込まれたことを受けて、今後はさらに学童クラブ事業の拡大にとり組んでいくべきであると考えられる。

このような視点に立って、今年度は小金井市の学童保育所のプレゼンテーションに応募し、2箇所の学童クラブを受託することになった。

＊障がい者グループホームの建設

・小金井市に建設を予定、年内着工。14人が入居予定

＊新たな放課後子ども教室や、学童クラブ分室の事業展開

②地域において求められる新しい事業の発掘、調査、取り組みを始めた

＊行政の動向などにも目を配りながら、必要かつ求められる事業に関しては、今後も前向きに取り組んでいく、ただし、第二次中期計画の方針に則って進める。

＊「地域で法人の事業を展開していく場合の戦略」参照)

(3) 現場と法人本部・法人事務局の連携の強化

＊制度の変化、新会計基準導入への対応

＊諸規程等の整備と現場への周知・徹底

＊相互の努力を前提としたより健全な支え合いの関係づくり

＊以上の点を踏まえて、準備を進めてきた。

(4) 専門委員会の活動の充実と本部機能との協働

＊第二次中期計画において決定された専門委員会は、その後、名称の変化などを経て、現在、以下のような委員会が活動を展開している。

・人材育成委員会－職員の研修を中心に－

・政策委員会－法人の直面する問題の把握と提言、講演会などの啓蒙活動－

・企画委員会－合同研修などの企画、福利厚生への検討、イベントの企画

・広報委員会－社内報の発行、ホームページの検討

- * 専門委員会での検討事項は経営委員会でさらに検討され、常任理事会を経て理事会に上げられ審議され、承認の後実施される。
- (5) 個々の職員の意見が各々の会議で検討され、各委員会へ提案され、理事会へとつながる様な、ボトムアップによる合意形成を図る
 - * 今年度から組織規定が整備されて、ボトムアップがより可能になる。
- (6) 経営委員会の作業部会としての役割を担う
 - * 各ブロックの施設長、管理職会から上がってきた案件の検討を行なう。
 - * 専門委員会から上がってきた案件の検討
 - * 検討の結果、委員会が重要と考えた案件を理事会にあげる。

2. 法人のガバナンスの構築と強化

- (1) 基礎構造改革以降、利用者主体の流れの中で、法人の組織および経営の透明化、情報の公開、苦情対応、個人情報保護対応等々、法人に求められる社会的責任が高まってきている。当法人はこのような現実に対応していくために、ガバナンス（法人統治）の強化が迫られてきている。この様な点を踏まえて取り組みを行なってきた。
- (2) 今年度も法人本部・事務局と事業所側とが協力しながら、以下のような取り組みを行なってきた。
 - * 総合的な視点に立つ経営戦略のもと事業の継続と雇用の安定を目指して取り組んできた。
 - * IT機能(VPNシステムを中心とした法人独自の情報機能システム)の強化と事務作業の合理化に取り組んできた。
- (3) 求められる事業、新たなニーズに取り組む事業など、法人のミッションと社会的使命を果たしていくために、新規事業に取り組んできた。
- (4) 利用者主体の立場に立って、苦情対応への速やかな、かつ適切な対応、個人情報の管理に力を注いできた。
- (5) 外部の専門家の力を導入し、諸規程等の見直し、改訂を進めてきた。

3. 人事室の設置と法人の人事体制の整備

多数の職員を擁する当法人は、兼ねてから人材の情報を統括する部門の設置が急がれて来た。昨年からは人事室立ち上げ委員会を設けて検討を重ねてきた。2014年度からは、急を要する職員登用・配置・異動や、その他職員の人事動向に関する諸データの整理など、健全で効率的な人事管理を進めてきた。

4. 法人の活性化と発展を目指すための取り組み

- (1) 研修プログラムの充実と展開により、法人は学習共同体を目指してきた。
 - * 研修報告参照
- (2) 職員処遇の検討、職場環境の改善、福利厚生の実施に取り組み、職員の定着を図ることに努めてきた。と同時に業務内容の質的向上の検証にも取り組んできた。
- (3) 管理職の資質の向上を促す、と共に適材適所の人材登用を心がけてきた。
- (4) 現場からの提案が活かされる柔軟なシステム造りを目指してきた。

5. 法人事務局の強化

法人事務局の専門性を強化し、法人の事業方針を受け止め、2014年度はルーチンワークの効率化、合理化をさらに進め、理事会の指示のもとに経営の改善を推進するため、理事長（常務理事）・担当理事・施設長（管理職）の補佐を行ってきた。（2014年度法人事務局事業報告参照）

Ⅲ：経営改善計画の進捗状況

組織の再編成を推進し、現在遂行している内部統制監査や監事監査等の役割を明確にし、2016年度に外部監査受査に至るまでの手法を確立し、法人の事業基本理念実現のため、効果的・効率

的な法人経営を目指す組織づくりを行うための検討を進めた。

1. 組織の再構築

2014年度は、管理職に対する役割と責任の明確化及び職種別ブロックにて主催される会議の権限などを明確にした。また、「常任理事会」に委任される案件の範囲などの整理に着手し、組織の再編を進めるための基本となる「組織規定」(案)を策定し、(4月1日の)理事会に提案して承認された。これにより各委員会や経営委員会、常任理事会等の位置づけが明確にされ、責任が明らかにされることになった。この結果、合理的、かつ効率的な組織運営を進めることが出来るようになった。さらに事業所における管理職の会計責任者としての責務が明確にされ、法人事務局との責任と役割の範囲も示され、事務作業の進捗を図ることが出来るようになった。

2. 組織規程の改定

理事及び監事、評議員、理事長、常務理事、事業種別担当理事、施設長(管理職)等の責任範囲及び権限を明確にし、組織図の整理とともに、より統制のとれた組織とするため、組織規程の見直し・改定を行い、法人が組織体として有機的に活動できるような体制作りを進めてきた。新しい組織規定は理事会の承認を得て2015年度より発効される。

3. 各種規程の改定・新規作成など

就業規則等、既に定められている規程については、現状のコンプライアンスに基づき法人内事業所の実態に合わせた改定・整理を行った。懲戒に関する手続きのように、未制定のものについては、新規に作成提案を行った。また、各規程間の整合性(合理性)についても確認を行い、齟齬の無いよう法人の規程体系の整備に努めた。

なお、規程の整備に際しては、法人で統一すべき事項、職種別ブロックでの共通事項、事業所固有の事項を明らかにし、整理・明文化に努めた。特に、就業規則等職員処遇に係る規程については、異動等の際に問題が生じないように、細部にわたり検証を行なうために、外部の専門家の意見も取り入れ、時代の変化に適応した改訂を行なった。規程の整備等については経営委員会で適宜取り上げて、現状に適応していけるように努めた。

4. 60歳定年制の検討について

単純に定年の年齢を引き上げるだけではなく、60歳以降の働き方を個々の人生設計に合わせて選択できるように、60歳以上の勤務体系の設計に取り組んだ。また、今後の日本社会の労働政策の動向を見据えながら、柔軟に対応していかなければならないと考えている。

5. 人材育成方針の確立

法人のミッション(キリスト精神)に立つ実践の担い手を育成することを基本に、さらに職業人としての専門知識、スキル、向上意欲などにおいて、福祉現場で十分に通用する職員の育成を目指した。そのために、研修体系の再構築やキャリアパス制度、資格取得支援制度等の検討を進め、実行に移す準備を行なった。

6. 給与制度の検討

経営委員会において、事業の継続と雇用の保障を踏まえ、給与規程及び諸手当の改定に取り組んできた。財源の縮減が明らかになってきたので、将来を見据えて抜本的な改定が求められている。

「地域で法人の事業を展開していく場合の戦略」

(理念と行動規範の確認)

- ① 事業基本理念、倫理綱領等とサービス規程に基づいて行動できる人材の育成
(地域社会の福祉課題への対応と掘り起し)
- ② 地域の特性(行政・住民・利用者のニーズ)を把握し、その地域のニーズを掘り起こし、「地域社会の福祉課題」として行政や法人に提案・その具体化に向かって行動・展開出来る人材の育成
(行政の福祉計画等の把握)
- ③ 地域の固有性(行政の事業計画等における区割り・住民階層の分析、利用者の志向・地域で組織化された団体等の認識)を把握し、他団体とも協同して事業展開が行える人材の育成
(適切な経営)
- ④ 法人のミッションに立つ事業経営原則を踏まえた上で、(常に収支のバランスを踏まえながら)利用者の幸せ(利益)を実現させることの出来る人材の育成
(ガバナンスの構築)
- ⑤ 時代の変化にともなって、社会福祉法人に求められる先駆的な事業とセーフティネットの維持に取り組んでいくことが可能な、法人のガバナンスの構築
(近隣関係教会(牧師)との関係強化)
- ⑥ 法人創立者は事業の中心に「キリスト精神」をおいた。この精神を学び、実践に活かしていくために、近隣教会(牧師)との連携を強めていく。

*これらの視点を踏まえて、研修体制に充実、各職場での職員の役付け基準の整備、人材の登用、管理職に対する担当理事によるOJTの実施、助言などを行なった。
今後、予想される人材不足を視野にいれながらの人材育成が急務となってきている。

2014年度法人事務局事業報告

事務局長代理 千葉陽子

2014年度は「組織再編」の一環として、職位と職務内容を整備することに着手した。その過程で、従前の組織規程は定款と整合していないことを認識した。このため、社会福祉法人本来の組織つまり理事会を中心として利用者・地域のニーズに応える事業経営をする組織であるように規程を修正した。これに合わせて組織規程の中で定められた、法人事務局の組織及び分掌事項の規定を作成した。

「働きやすい職場」として事業運営の諸問題に対応していくため組織を透明化する必要があり、各事業所固有の事情を考慮した「現場管理職の責任と役割」を明示することが課題となった。

1. 「外部監査への準備」の進捗状況

1) 組織の再構築の事務作業

法人の組織規程及び法人事務局分掌規定については改訂案を2014年度中に作成。2015年度4月1日の臨時理事会で承認された。

2) 諸規程の整備

上記1の組織再構築に伴い、諸規程の整備を行った。特に就業規則及び経理規程については、法改正等に対応し、法人としての方針を盛り込んだ改訂となった。

2. 日常の総務・人事・会計事務業務の実施

各事業所での経理、労務管理等の事務の効率化を検討し、適切なタイミングでの正確な予算管理や人事管理が各事業所で実施できるように補助した。特に、月次試算表については、2014年度後半より毎月各事業ブロック施設長・管理者会で開示。会計の透明化を図った。事務局内の事務マニュアル及び施設長事務マニュアルも常に見直し、必要な修正・改訂を行った。

3. 収益事業管理体制の整理・強化

社会福祉事業を支えるための収益事業という法人内の位置付けを再度確認し、安定的な収益事業の継続を図るため、管理体制の見直しを行い、マニュアル化を進めた。また、12月に(株)ホンダモーターサイクルジャパンが和光プラザでの定期借家契約満了に伴い退去したが、期間を開けずボックスストアサンデイ（ディスカウントストア）の入居が決まり、大きな打撃は無く事業の継続が出来ている。前述の組織再編に伴い2015年度より、収益事業は常務理事直轄の事業となり法人事務局の分掌から外れることとなった。

法人主催及び他の団体と協力して開催する集会、研修等

名称	内容	主催	開催日	参加人数
新入職員研修(正規, 嘱託)①	法人のミッション聖書の学び、事業基本理念Ⅰ・Ⅱ、賀川豊彦について、資料館のレクチャーと見学	法人	2月23日	54
新入職員研修(正規, 嘱託)②	法人のミッション聖書の学び、事業基本理念Ⅲ・Ⅳ、賀川豊彦について、マナー研修(住友生命)、雲柱社で働くために(就業規則・倫理・個人情報保護規程等)	法人	3月2日	57
新入職員研修(正規, 嘱託)③(フォロー)	法人のミッション聖書に学び、事業基本理念Ⅰ・Ⅱ、賀川豊彦のキリスト精神、雲柱社の歴史、事業基本理念Ⅲ・Ⅳ、賀川豊彦について、閉会礼拝	法人	4月12日	11
2年目研修①	法人のミッション聖書の学び、雲柱社の職員として、事業基本理念の理解、賀川豊彦に学ぶ、賀川豊彦の「子どもの権利」今日的意義と子ども達の現状、話し合いまとめ、レポート作成、交流	法人	6月7日	27
2年目研修②	法人のミッション聖書の学び、雲柱社の職員として、事業基本理念の理解、賀川豊彦に学ぶ、賀川豊彦の「子どもの権利」今日的意義と子ども達の現状、話し合いまとめ、レポート作成、交流	法人	9月6日	19
3年目研修①	共同生活、労働における職員の学びと交流、あさひ福祉作業所で作業	法人	5月31日～6月2日	23
3年目研修②	共同生活、労働における職員の学びと交流、あさひ福祉作業所で作業	法人	9月27日～9月29日	22
5年目研修	法人のミッション聖書の学び、法人の第二次中期計画を共に考える-雲柱社の職員としてみなさんに期待すること、基本事業理念を実質化する-中期計画を現場とつなぐ、賀川のキリスト精神-5年目職員へのメッセージ、賀川豊彦に学ぶ「社会事業の思想と実践」-スラムでの働き・セツルメント運動を中心に、交流	法人	5月10日	23
10年目研修	法人のミッション聖書の学び、大正期労働組合運動にみる賀川豊彦の夢と挫折-賀川豊彦の生き様から学ぶ、雲柱社はどこへ向かうのか-事業基本理念と中期計画、10年目職員の課題は何かこれから何を担うのかグループワークを中心に、交流	法人	2月7日	15
非常勤職員研修Ⅰ	礼拝、「雲の柱に導かれて」、法人事業基本理念について～キリスト精神に基づいて～、ピタリティー、話し合い	法人	6月21日	42
非常勤職員研修Ⅱ	各ブロックで実施	法人	適時	
テーマ別研修Ⅰ	法人のミッション聖書の学び、「人権研修」社会福祉職員が身に着けておくべき人権への意識と課題	法人	6月14日	35
テーマ別研修Ⅱ	法人のミッション聖書に学び、「対応の難しい保護者への関わり方と支援」-保護者対応を子ども家庭支援センターの視点から考える-	法人	9月13日	28
テーマ別研修Ⅲ	法人のミッション聖書に学び、働く人のメンタルヘルス～うつ病の予防と治療～	法人	12月6日	27
テーマ別研修Ⅳ	法人のミッション聖書に学び、障がい理解研修	法人	1月24日	25
第1回全体施設長会	礼拝、ミッションに活かされて、新施設長紹介、法人からのインフォメーション、話し合いⅠ テーマ「施設における人材育成はどのように進められているか」、話し合いⅡ テーマ「地域型社会福祉事業体の形成」～墨田地区における実態から～、各ブロックの課題、各専門委員会からの報告-2014年度の課題と展望-、人事部(仮称)の準備状況、各施設と本部事務局との連携、閉会の祈り	法人	4月14日	41
第2回全体施設長会	礼拝、法人の現状、2014年度上半期財政状況の検証、2015年度からの新会計制度移行について、ハラスメント等の規定について、就業規則の改定について、法人職員職務基準書の導入について-導入の目的、位置づけ、内容、評価者研修、職員への周知など-、「事業基本理念と職務基準」、第二次中期計画並びに制度改革を踏まえて、今後の法人事業展開について話し合い、閉会の祈り	法人	10月20日	39
第3回全体施設長会	礼拝、社会福祉法人の立場から～法人の変化と課題～、研修「職場のメンタルヘルス～ラインケアへの取り組み」、質疑応答、報告(各ブロック)	法人	2月16日	35
全体会 (会場：東京経済大学 国分寺キャンパス)	礼拝、雲柱社憲章唱和、2013年度の総括と2014年度の展望、講演「賀川豊彦と私」、創立60周年記念懸賞論文表彰と講評、永年勤続表彰、辞令伝達、新人職員紹介、黙祷	法人	3月29日	368
社会問題学習会	職員が広くさまざまな社会問題を理解し、自らの人格形成に生かす 「逃げ遅れる人々」東日本大震災と障害者、講演「東日本大震災と災害時要援護者」	法人	5月30日	18
社会問題学習会	職員が広くさまざまな社会問題を理解し、自らの人格形成に生かす「逃げ遅れる人々」東日本大震災と障害者、講演「東日本大震災と災害時要援護者」	法人	10月4日	32
社会問題学習会	ドキュメンタリー映画「隣る人」自主上映会	法人	11月14日	18
墓前礼拝	墓前祈禱会、雲柱社管理職研修、保育ブロック研修	法人	4月20日	43
法人ミッション基礎研修	礼拝、事業基本理念Ⅰ・Ⅱ 賀川豊彦のキリスト精神、雲柱者の歴史、事業基本理念Ⅲ・Ⅳ具体的な事業との結びつき、まとめレポート	法人	6月21日、7月19日	22

外部団体が開催する研修等

名称・内容	主催	開催日	参加人数
働く女性のための「記録管理の基礎知識」	日本女子大学生涯学習センター	6月7日	1
平成26年 指定管理者セミナー 『指定管理者の現状と今後の展開』	㈱ビルネット	6月4日	1
パソコン教室	北沢法人会	6月16日、23日 7月7日、14日、23日 28日、30日	2
アイギスアカデミー マニュアル利用法基本編	アイギスアカデミー	4月25日	1
多摩地域支援力向上モデル活動研究会「触法障害者の地域支援」	東京保護観察所立川支部	4月24日	1
ウェルネットの安全衛生推進者・衛生推進者講習	㈱ウェルネット	5月12日	1
平成26年度社会福祉法人の運営等に係る講習会	東京都福祉保健局指導監査部	5月16日	1
算定基礎届事務講習会	東京社会保険協会	6月10日、11日、12日 13日	4
第51回社会福祉セミナー 援用する家族と社会福祉-支援戦略のパラダイム転換-	公益財団法人 鉄道弘済会	7月24日、25日	2
平成26年度 第1回社会福祉法人協議会	東京都社会福祉協議会	6月6日	1
障害者雇用研究会(東京都立青島特別支援学校見学会)	ハローワーク渋谷	6月5日	1
平成26年度「地球温暖化対策報告書」説明会	東京都環境局 都市地球環境部	6月26日	1
地域イベントプロデューサー講座	地域プロでデューサー協議会	6月13日、7月16日 9月17日、11月19日 2月7日	1
平成26年度第1回健康保険委員研修会	全国健康保険協会 東京支部	7月11日	1
動乱の東アジア情勢と日本の針路	野村不動産	7月11日	1
平成26年度社会福祉事業従事者人権研修【1】	東京都福祉保健局	7月16日、9月17日	1
年金シニアライフセミナー・社会保険事務講習会	東京社会保険会	7月29日、30日 31日、8月1日	4

日本キリスト教社会事業同盟第70回総会・研修会	日本キリスト教社会事業同盟	6月12日～6月13日	2
人権問題雇用主研修会	ハローワーク渋谷	6月18日	1
平成26年度東京都社会福祉協議会従事者共済会事務説明会	東京都社会福祉協議会	6月23日	2
平成26年度認可保育所講習会	東京都福祉保健局	7月3日	1
平成26年度地域児童館支援事業説明会	東京都児童相談センター	7月3日	1
メンタルヘルス対策と基幹情報活用	リコージャパン	6月20日	1
子ども・子育て支援新制度に係る公定価格説明会	東京都民間保育園協会	7月25日	2
会計基礎実務研修	東京都社会福祉協議会	7月24日、29日、30日 8月7日	2
平成26年度経済産業省中小企業庁委託「企業の社会的責任と人権」セミナー	人材教育啓発推進センター	9月12日	1
障がい福祉サービスの経営セミナー 障害者の就労支援の課題と可能性を考える	福祉医療機構	9月26日	1
平成26年度 社会福祉法人協議会 第2回 経営者セミナー	東京都社会福祉協議会	9月12日	3
平成26年度 地域支援セミナー (第1分科会)	日本知的障害者福祉協会地域支援部会	9月29日、30日	1
平成26年度第2回健康保険委員研修会	全国健康保険協会 東京支部	9月12日	1
社会福祉法人・施設会計実務研修会『新社会福祉法人会計基準への移行研修』	東京都社会福祉協議会	9月9日、11日、12日	2
障害者雇用研究会開催 (企業等による障害者雇用事例の発表会)	ハローワーク渋谷	9月2日	1
平成26年度 使用者向けセミナー 「労働法令改正と企業の対応課題」	東京都労働相談情報センター大崎事務所	10月22日、24日	2
リコージャパン2014情報発信セミナー【セキュリティ編】～情報漏えい対策のコツ～	リコージャパン株式会社	8月21日	1
海外外出・外国人採用の社会保険の取り扱い (社会保障協定) に関する講習会	東京社会保険協会	10月24日	1
災害・事故から学ぶ危機管理のあり方	日本産業カウンセラー協会	9月6日	1
認定こども園向け全国説明会	㈱ムラヤマ	8月28日	1
平成26年度 民間児童館ネットワーク研修	民間児童館ネットワーク事務局	9月5日	1
社会保険事務講習会 年金の仕組みと手続きに関する講習会	東京社会保険協会	11月26日	1
平成26年度第3回健康保険委員会研修会	全国健康保険協会 東京支部	11月6日	1
「障害者の雇用と就労」～事業主の安全配慮義務を考える～	東京都労働相談情報センター	12月8日、9日	1
平成26年分年末調整等説明会	東京国税庁	11月19日、25日	4
これからの企業のメンタルヘルス対策 (ストレスチェック制度の創設)	J T B ベネフィットセミナー事務局	12月10日	2
失敗事例から学ぶ新会計基準移行の勘所	応研研	11月26日	1
今後の日本経済のゆくえ	野村不動産アーバンネット	12月17日	1
平成26年度 第2回社会福祉法人協議会 総会	東京都社会福祉協議会	12月12日	1
社会保険事務講習会 60歳からの雇用保険と社会保険の手続き	東京社会保険協会	2月24日、25日、26日 27日	4
「多様な正社員」対応の法的留意点 ～円滑な導入・運用のポイント～	東京都労働相談情報センター大崎事務所	1月22日、28日 2月19日、25日 2月20日～21日	2
働く人のための労働法概論～変わる労働法 労働者保護の行方～	東京都労働相談情報センター大崎事務所	2月19日、25日	1
第19回全国地域福祉施設研修会	日本地域福祉施設協議会	2月20日、21日	2
マイナンバー制度で企業実務は変わる具体的な準備と給与システム対応	大塚商会	2月5日	1
平成26年度第4回健康保険委員研修会	全国健康保険協会 東京支部	2月25日	1
発達障害者の就労を考える	世田谷区 障害福祉担当部 障害者地域生活課	2月13日	1
平成27年度申告申請に係る障害者雇用納付金制度事務説明会	独立行政法人高齢者・障害・求職者雇用支援機構	2月25日	1
「保育士等キャリアアップ補助・保育サービス推進事業 (仮称)」の申請事務説明会	東京都福祉保健局	2月9日	2

2014年度理事会

() は書面出席

名称	議案	開催日	出席人数 (書面出席)
第一回理事会	第一号議案 2013(平成25)年度事業報告に関する件	5月24日	9
	第二号議案 2013(平成25)年度監事の監査報告及び決算報告に関する件		
	第三号議案 五日市保育園改築による新園舎の基本財産への計上と定款変更に関する件		
	第四号議案 2013(平成25)年度資産総額に関する件		
	第五号議案 経理規程の変更に関する件		
	第六号議案 雲柱社三法人役員協議会に関する件		
	第七号議案 ㈱J T B ベネフィット福利厚生費残金の活用に関する件		
第一回臨時理事会	第一号議案 管理職人事に関する件	6月5日	9
第二回臨時理事会	第一号議案 宮前保育園和泉児童館合築に関する件	7月26日	7(2)
	第二号議案 障がい児者支援事業のための土地取得に関する件		
	第三号議案 墨田区押上保育園管理職人事に関する件		
	第四号議案 文花児童館の学童分室第四吾妻小学校内学童クラブに関する件		
第二回理事会	第一号議案 2014(平成26)年度 五日市保育園、虹のひかり保育園 経理区分繰入に関する件	12月6日	9(2)
	第二号議案 2014(平成26)年度資金収支第一次補正予算に関する件		
	第三号議案 管理職人事に関する件		
	第四号議案 ハラスメント防止規程に関する件		
	第五号議案 新会計移行に伴う、拠点区分・サービス区分に関する件		
	第六号議案 新制度移行に関する件		
	第七号議案 土地の基本財産への計上及び定款変更に関する件		
	第八号議案 公益事業の定款変更に関する件		
	第九号議案 狛江市立宮前保育園民営化に係る保育園及び狛江市立和泉児童館運営に関する件		
第三回臨時理事会	第一号議案 グループホーム (小金井市本町5丁目) 新築工事設計監理 (コンサルタント) 契約に関する件	1月11日	4(5)
	第二号議案 グループホーム (小金井市本町5丁目) 本体工事入札に関する件		
	第三号議案 グループホーム (小金井市本町5丁目) 独立行政法人福祉医療機構借入及び担保提供に関する件		
	第四号議案 (仮称) 狛江宮前保育園和泉児童館新築工事設計監理 (コンサルタント) 契約に関する件		
第四回臨時理事会	第一号議案 (仮称) 小金井本町5丁目グループホーム新築工事入札結果に関する件	2月28日	5(3)
第三回理事会	第一号議案 組織規程改訂に関する件	3月7日	7(1)
	第二号議案 評議員改選に関する件		
	第三号議案 2014(平成26)年度資金収支最終補正予算に関する件		
	第四号議案 法人本部事務局設置及び分掌規程制定に関する件		
	第五号議案 経理規程改訂に関する件		
	第六号議案 2015(平成27)年度事業計画に関する件		
	第七号議案 2015(平成27)年度資金収支当初予算に関する件		
	第八号議案 2015(平成27)年度管理職人事(新任・異動)に関する件		
	第九号議案 就業規則及び育児休業・介護休業規程の法改正に伴う改定に関する件		
	第十号議案 賀川学園運営規程変更に関する件		
	第十一号議案 小金井市児童発達支援センター送迎バス委託契約に関する件		

() は書面出席

2014年度評議員会

名称	議案	開催日	出席人数
第一回評議員会	第一号議案 2013(平成25)年度事業報告に関する件 第二号議案 2013(平成25)年度監事の監査報告及び決算報告に関する件 第三号議案 五日市保育園改案による新園舎の基本財産への計上と定款変更に関する件 第四号議案 2013(平成25)年度資産総額に関する件 第五号議案 経理規程の変更に関する件 第六号議案 雲柱社三法人役員協議会に関する件 第七号議案 ㈱JTBベネフィット福利厚生費残金の活用に関する件 第八号議案 汐入ふれあい館事業継続のためのプロポーザルに関する件 第九号議案 第九号議案 小金井市児童発達支援センタープロポーザルに関する件 第十号議案 第十号議案 五日市保育園本園舎工事にに関する件	5月24日	17
第二回評議員会	第一号議案 2014(平成26)年度 五日市保育園、虹のひかり保育園 経理区分繰入に関する件 第二号議案 2014(平成26)年度資金収支第一次補正予算に関する件 第三号議案 管理職人事に関する件 第四号議案 ハラスメント防止規程に関する件 第五号議案 新会計移行に伴う、拠点区分・サービス区分に関する件 第六号議案 新制度移行に関する件 第七号議案 土地の基本財産への計上及び定款変更に関する件 第八号議案 公益事業の定款変更に関する件	12月6日	15
第三回評議員会	第一号議案 組織規程改訂に関する件 第二号議案 役員改選に関する件 第三号議案 2014(平成26)年度資金収支最終補正予算に関する件 第四号議案 法人本部事務局設置及び分掌規程制定に関する件 第五号議案 経理規程改訂に関する件 第六号議案 2015(平成27)年度事業計画に関する件 第七号議案 2015(平成27)年度資金収支当初予算に関する件 第八号議案 2015(平成27)年度管理職人事(新任・異動)に関する件 第九号議案 就業規則及び育児休業・介護休業規程の法改正に伴う改変に関する件 第十号議案 賀川学園運営規程変更に関する件 第十一号議案 小金井市児童発達支援センター送迎バス委託契約に関する件	3月7日	16

2014年度経営委員会

名称	議案	開催日	出席人数
第1回経営委員会	1. 2013年度事業概要について 2. 雲の柱27号の配布範囲について 3. 組織再構築について 4. 給与規程の改定について ・主事の管理職手当 5. 単独学童クラブの会計責任者について 6. 慶弔費の1日入院について 7. 時間有給の繰り越しについて 8. 管理職経験者の定年延長による嘱託処遇について ・永澤 和男 9. 家庭的保育事業 支援者の処遇について ・芹沢 政子 10. 職員健康調査票の実施について 11. 練馬区情報セキュリティに関する要綱作成について ・練馬区情報セキュリティに関する基本方針 ・練馬区情報化管理規程 全文 ・情報システム機器のファイナンスリースにおける情報の取扱いに関する特記事項 ・情報システム機器のメンテナンスリースにおける情報の取扱いに関する特記事項 ・練馬区情報セキュリティに関する要綱 12. 公益事業且つ補助事業でない事業の消費税課税について 13. 第一回評議員会・理事会の懇親昼食会の開催について 14. (仮称)大田区子ども家庭支援センター六郷運営委託事業者募集について	4月22日	6
第2回経営委員会	1. 2014年度保育ブロック採用計画について ・内定者に対するフォローアップ計画案の発表 ・退職者の傾向分析 ・不採用者の二次応募、三次応募についてどう考えるか 2. 私傷病による職員の休職および復職に関する規程について 3. 就業規則の改定状況について 4. 組織再編から(会計責任者の役割及び日常業務の範囲について) 5. 危機管理マニュアルについて 6. 専門委員会の役割整理及び事業計画について	5月28日	11
第3回経営委員会	1. 2013年度決算赤字計上事業所のレポート及びヒアリングについて 2. 議案1を受け、会計責任者の役割及び日常業務の範囲についての整理 3. 専門委員会の役割整理及び事業計画について継続の検討 4. JTBベネフィットえらべる倶楽部福利厚生サービスの継続について	6月25日	12
第4回経営委員会	1. 経理規程改正事業区分拠点区分サービス区分の設定について 2. 就業規則の変更について 3. ハラスメント専用窓口(専用電話)開設について 4. 子ども・子育て新制度に関する法人の方針について 5. 職務基準の執行部項目案について 6. 福利厚生(JTBベネフィットを含む)アンケートの実施について 7. 第二回臨時理事会議案について ・宮前保育園和泉児童館合築に関する件 ・障がい児者支援事業のための土地取得に関する件 ・押上保育園管理職人事に関する件 ・文花児童館の学童分室第四吾妻小学校内学童クラブに関する件 その他 管理職人事に関する件 定款変更に関する件 (ファミリー・サポート・センター)	7月23日	8

第5回経営委員会	1. サービス区分の設定に伴う事業計画について 2. ハラスメント専用窓口（専用電話：03-3302-2882）開設について及び相談メール（j-soudan@unchusha.com）の使い方・活用について 3. 子ども・子育て新制度に関する法人の方針について 4. 管理職人事について 5. 定款変更について（ファミリー・サポート・センター） 6. 全体施設長会及び全体会の日程確認について その他 ・高根学園保育所の放課後児童教室について	8月27日	9
第6回経営委員会	1. サービス区分の設定に伴う事業計画について（各ブロックより進捗状況） 2. 福利厚生アンケートについて 3. 全体施設長会（10/20、2/16）及び全体会（3/28）の内容について 4. 資格取得に関する保育ブロックでの取り組みについて（資格取得支援制度について） 5. 9月からの押上保育園の管理職体制について 6. 練馬区光が丘子ども家庭支援センター・児童館の労働環境調査について 7. 江東区平野児童館について 8. 職務基準書の内容確認について 9. 七峽田小学童クラブについて	9月24日	12
第7回経営委員会	1. 新規事業への応募の件 2. 正規職員年度途中異動の件 ・祖師谷保育園分園→虹のひかり保育園 ・岩戸児童センター→外手児童館業平分室 ・文花児童館→祖師谷保育園（正規→嘱託） 3. 2015年度採用・異動・退職状況報告 4. 事業計画の書式（計画項目）についての進捗状況 5. 住宅手当について 6. その他	10月20日	13
第8回経営委員会	1. 経理規程変更に関する件 2. 就業規則変更に関する件 ・扶養手当 3. 管理職人事に関する件 4. 新制度移行に関する件 ・保育所、家庭的保育事業（世田谷区・墨田区） 5. 高根学園保育所学童保育事業に関する件 6. 土地の基本財産への変更（かがわの家用の土地） 7. 狛江市立和泉児童館について 8. その他	11月14日	11
第9回経営委員会	1. 保育ブロック処遇改善費の件 2. 役員・評議員の今年度末日任期満了の件 3. 職務基準の件 4. JTBを含む福利厚生の件 5. 2015年度と2016年度の採用と異動などの件 6. その他	12月18日	10
第10回経営委員会	1. 専門委員会のメンバーの件（任期：2015年4月1日～2017年3月31日） 2. ハラスメント苦情対応規程等の件 ・ハラスメント苦情対応規程 ・ハラスメント苦情相談窓口の設置と運営について ・ハラスメント対応フロー ・管理職、職員への周知について 3. 就業規則及び諸規程の件 ・割増賃金について（追加記載） 4. 育児休業・介護休業規程の件 ・法令変更に伴う追加記載及び文言の変更 ・休業の対象者について（適用除外者の確認） 5. 2月16日（月）全体施設長会の件 6. 3月28日（土）2015年度全体会の件 7. その他 ・2015年度研修について ・イエス合同研修について	1月21日	10
第11回経営委員会	1. 組織規程改訂に関する件 2. 賀川学園の運営規程変更について ・2015年4月から保育所等訪問支援を開始するにあたり、運営規程を変更し東京都へ申請する。 賀川学園の障害児通所支援事業については変更なく、サービスの種類が追加となる。 3. 職務基準要綱の制定に関する件 4. 育児介護休業の件 5. 法人本部事務局設置及び分掌規程制定に関する件 6. 3月7日評議員会及び理事会の議案に関する件 7. 全体会のプログラムについて 8. その他	2月18日	11
第12回経営委員会	1. 組織規程改訂に関する件 2. 法人本部事務局設置及び分掌規程制定に関する件 3. ①10年目研修の提案について （最終的な案を配布しますので、採用について決めていただければと思います。） 4. ②情報セキュリティポリシーについての提案 5. ③次年度法人研修について（日程変更） 6. ④研修担当者研修（管理職研修）について	3月18日	10

2014年度苦情解決第三者委員

名称	議案	開催日	出席人数
第一回第三者委員会	1. 理事長あいさつ 2. 自己紹介 ・新任第三者委員の紹介 3. 2013年度下半期苦情対応報告 ・資料「2013（平成25）年度下半期社会福祉法人雲柱社苦情状況報告」より 4. 2013年度苦情対応状況報告 ○各ブロックより ・傾向 ・求められること ・報告事項 ○法人より ・墨田区押上保育園 ・小平市ファミリー・サポート・センター 5. 今後の苦情対応について助言・協議	6月14日	12

第二回第三者委員会	1. 理事長あいさつ 2. 自己紹介 3. 2014年度上半期苦情対応報告 ・資料「2014(平成26)年度上半期 社会福祉法人雲柱社 苦情・ご意見受けつけ報告」より 4. 2014年度苦情対応状況報告 ○各ブロックより ・傾向 ・求められること ・報告事項 ○法人より ・報告 墨田区押上保育園 光の園保育学校 ・利用者支援の基本姿勢 リスク管理など 5. 今後の苦情対応について助言・協議	11月12日	10
-----------	---	--------	----

2014年度関係牧師懇談会

名称	議案	開催日	出席人数
第四回関係牧師懇談会	1. 理事長あいさつ 2. 「キリスト教主義に立つ社会福祉施設の課題と展望」－関係教会との交流の意義とこれからの展開－社会福祉法人雲柱社の職員へのミッションの深化をめざして 社会福祉法人雲柱社 理事長 服部 榮 3. 教会からキリスト教主義に立つ社会福祉施設へ 東駒形教会牧師 戒能 信生先生 4. 一質疑・懇談－ 5. 関係牧師の方からの近況報告（現場における聖書研修等） 6. その他	11月17日	17

グループかがわ

社会福祉法人雲柱社 かがわブロック 2014(平成26)年度 事業報告

記入者 中村 悠子

法や制度の枠を超え、幼児期から学齢期、成人期にわたって知的障がいと自閉症児・者及びその家族の地域での安定した暮らしと成長を支援することを目指し、以下の事業を障がい児・者ブロック（かがわブロック）で連携・分担し、実施してきた。

平成27年3月には報酬改定があり利用者にとって負担増となり、事業所によっては減額ということになった。さらに平成30年にはまた大きな変更が予測され、各事業所は5年後10年後を見据えた事業運営を考えなくてはならない状況である。

ブロック内の課題は人材の確保である。今年度も職員採用を3次採用まで行ってきたが特に男性職員の確保が難しい状況が続いている。

また、それぞれの事業所は建物の老朽化が進んでいるため順次修繕・建て替え計画が必要になっているが、懸案となっていたKAGAWA館の建て替え・修繕については制度変更の事情もありグループホーム（ミラ・カペラ）は土地を購入し、施設整備費の補助金を利用して平成27年10月、新たに4人の利用者を受け入れての開設となった。他の事業所が残るKAGAWA館については修繕計画を業者に依頼しているところである。

・きょうだいの会（ライオンクラブ）事業

障がいのある子どものきょうだいと家族を支える会として、毎月1回の定期活動と8月7～9日及び3月6～7日にキャンプを実施。3月27日にはジュニアスタッフ活動としてディズニーランドへ行った。会員(小学生)12名、ジュニアスタッフ会員(中学1年～大学2年)26名

・東京都障害者(児)移動支援従事者養成研修事業

ヘルパー確保と障がい児・者に対する理解を目的にガイドヘルパー養成研修講座を6月15日・22日に開催、参加者 8名

・小金井貫井北町地区交流・連携事業

11月13日に愛の園保育園、小金井市子ども家庭支援センター、賀川学園、さくらの木、かがわ工房、きらりが参加し、今回は「きらりの事業について」報告を行った。

・さくらの会運営事業 ・会員数314名、旧職員13名、特別会員15名

・会の名簿作成、会費の徴収(年会費1,000円)を行った。さくら前線の発行は年4回（4月・7月・10月・2月）さくらの会会員、及び法人関係やお世話になった方を対象に配布した。

・合宿の企画運営

夏合宿A 8月1～2日 (山中湖) 小・中学1年生対象 参加者10名

夏合宿B 8月28～30日 (野辺山) 中学2年生～成人対象 参加者14名

スキー合宿 1月18～20日 (苗場) 小学生以上の利用者とその家族参加者61名

・後援会主催バザー

今年度もグループかがわ後援会が、グループかがわの事業を支えることを目的に11月8日（土）にバザーを行った。同窓生の集う場として地域住民との交流の理解を深める場として大切な役割を果たすことができた。最終収益8,200,074円。各事業で必要な備品の整備に一部あてられた。

・全体職員会の企画運営

7月19日(土) ・「応急救護について」講師 office on 彦坂 康明氏

・実践報告合評会 ・他事業体験研修報告

12月13日(土) ・アドベント礼拝 (国分寺教会 願念望牧師) 愛の園保育園合同

・「小金井市の障害福祉の現状と課題について」 小金井市職員

・他事業体験研修報告 ・事業総括

3月28日(土) ・障がい児・者ブロック事業計画